

## 会 議 録 ( 要 旨 )

会 議 名	第 4 回武蔵村山市行財政運営懇談会
開 催 日 時	平成 2 8 年 1 月 1 2 日 ( 火 ) 午後 6 時から午後 8 時 5 分まで
開 催 場 所	3 0 1 会議室
出席者及び 欠 席 者	出席者：細川会長、乃一副会長、内野委員、狩野委員、村野委員、原田委員、藤 本委員 欠席者：な し 事務局：企画政策課長、企画政策課主査（行政管理 G）、同課主任
報 告 事 項	○ 第 3 回行財政運営懇談会の会議結果について
議 題	1 所掌事項の調査検討について 2 その他
結 論	議題 1 所掌事項の調査検討について 武蔵村山市行財政運営懇談会設置要綱第 2 条の規定に基づき、第六次行政改 革大綱の素案について審議し、各委員から意見をいただいた（推進項目「項番 0 4 9」から「項番 0 6 8」まで。）。 議題 2 その他 次回以降の審議スケジュールについて確認した。
審 議 経 過 ( 主 な 意 見 等 ) ○ : 委員 ● : 事務局	議題 1 所掌事項の調査検討について 【事務局説明】 ● 第六次行政改革大綱の推進項目について、素案に基づき説明を行った。 【質疑・応答】 ○ 項番 0 4 4 の修正案について意見等はあるか。 ○ 修正案でも事業内容が分かりにくい。現在の市の事業が民営化対象となる ということを説明したほうがいい。 ○ 「現行の市の事業に対し」又は「現在、市が実施している事業に対し」など としたほうがいい。 ● 再修正したい。 ○ 「項番 0 4 9 : 市民意識等の把握促進」について、市民意識調査にインター ネット回答を導入した場合は、郵送回答を廃止するのか。 ● その点については、今後検討していきたい。 ○ インターネットを使えない方もいるので、郵送回答は残したほうがいい。 ○ 市民意識調査の回答者に属性の偏りはないのか。 ● 年代が低くなるにつれて回答率も低くなっている。 ○ コストは掛かると思うが、国勢調査のようにインターネット回答と郵送回答 を選択できるようになれば回答率は上がるだろう。 ○ 質問数が 7 0 問もあるのは多すぎる。これでは回答する気がなくなる。せめ て、3 0 問程度にできないものか。 ○ 質問数が多すぎるので、どうやって効率的にするかを考えなくてはならな い。 ● 検討したい。 ○ 「項番 0 5 0 : 市民提案制度の見直し」について、どのように見直すのか。 ● 具体的な見直し案はまだ考えていないが、市民の方がより提案しやすいよう にしたいと考えている。 ○ 本項目は、長期総合計画と目標が異なっているが、理由はあるのか。 ● まずは、制度を変えて多くの提案を集めたいと考えているため、第六次行革 大綱では提案件数を達成基準の指標としている。 ○ テーマを設定して募集する方法等もあると思うので、分かりやすい制度とな るよう工夫してもらいたい。 ○ 制度を見直すのであれば、年次計画に「検討」などの記載が必要ではない

か。

- 平成30年度に「達成」が目標であるので、それまでに検討を行い制度改正することは自明である。また、ここで「検討」を記載すると、整合性を図るために、他の推進項目の年次計画も変更しなくてはならない。
- 今のままでは分かりにくいと思うので、「検討」などと記載したほうがいい。
- 修正したい。
- 「項番051：高校生への出前講座の開催」について、これまで高校への働きかけはどの程度しているのか。
- 高校だけではなく、他の団体へも働きかけはしていない。
- 税務署の場合は、租税教室などの開催を学校へ働きかけている。学校が年間の授業計画を立てる前に、積極的に働きかけたほうがいい。
- 「項番052：市内学校での新たな選挙啓発活動の実施」について、高校生は対象としないのか。
- 高校へは東京都が啓発活動を行うことから、市の管轄である小・中学校を対象とすることとした。
- 「項番055：ふるさと納税制度の利用方法等の見直し」について、昨年度はどのくらいの寄付金が集まったのか。
- 平成26年度は27件の260万円であり、平成25年度は12件の200万円である。
- 私も本制度で本市に1万円を寄附したが、返礼品が5,000円相当の物で驚いた。返礼品を豪華にしすぎではないか。
- 現在は、1万円の寄附でも100万円の寄附でも同じ返礼品であるので、そこに課題があると感じている。
- 他市では地場産業の活性化の観点から返礼品を決めているところもある。そのような方向で実施するのもいいかもしれない。
- 「項番053：債権管理体制等の検討」について、本項目を実施する場合には組織改正が必要となるのか。
- 必要となる。
- システム上の課題等もあると思うが、長期的な視点で債権管理部門の統合を進めてほしい。
- 「項番056：償却資産に係る新規事業者の申告率向上」について、法人の設立状況等を税務署で確認しているのか。
- 現在も税務署で確認作業を行っている。
- 未申告者に対しては、実地調査に行けば解決できると思う。
- 「項番057：市税収納率の向上」について、クレジットカードで納付できるようにすれば、収納率が上がるのではないか。
- 一案だと思うが、手数料が高いため、引き続き検討が必要である。
- 学校給食費の未納に関しては、親の意識を変える必要がある。
- 現在は、ある一定期間の間に入金すると自動的に引き落とされる銀行サービスもある。
- 収納率の向上を目指す上では、銀行のサービス内容等を確認し、様々な方法を模索してほしい。
- 「項番062：補助金等交付基準の制定」について、これは補助金の時限立法的なルールを設定するということか。
- 補助金の終期に関する一律のルールを定めるほか、迂回補助金に制限を行うなど、補助金の交付に関する具体的なルールの設定を考えている。
- それにどこまで拘束力を持たせるかが問題だろう。
- 「項番063：財政調整基金の残高確保」について、本市の残高は大きいほうなのか。
- 26市の中では低い状況である。
- 長期的には市の借金を減らすような施策も必要である。
- 市の貯金を増やす方向に注力するのか、市の借金を減らす方向に注力するの

	<p>かは、難しい問題である。</p> <p>○ 「項番064：文書作成ソフトの切替えの検討」について、単に安いソフトに切り替えていこうと安易に考えないほうがいい。普及していないソフトでは、送り先のパソコンに互換性がないこともある。</p> <p>○ ソフトの切替えは庁内システムにも影響するのではないか。そうすると、新たな経費が生じることになる。</p> <p>● それらの点にも留意して検討していきたい。</p> <p>○ 互換性が100%というソフトはないので、慎重に検討してほしい。</p> <p>● 承知した。</p> <p>○ 「項番065：加除式例規集の在り方の検討」について、現代において紙媒体の例規集は不要ではないか。目標水準は「検討」ではなく「実施」でいい。なぜ実施できないのか。</p> <p>● 紙媒体を望む者もいる。</p> <p>○ ペーパーレス化を考える時代ではないのか。</p> <p>● 議員の理解も得る必要がある。</p> <p>○ 議場に wi-fi を整備してタブレットで閲覧すればいいのではないかと。議場だけであれば、数十万円で整備できるだろう。そもそも、例規集の加除を業者に委託せずに管理職等が自身で行えばいい。</p> <p>○ 「項番066：職員被服の在り方の検討」について、職員は事務服を着ているのか。</p> <p>● 夏以外は着ている。</p> <p>○ 行事等において、職員と参加者を見分ける上では事務服が役立つ。</p> <p>○ 現業職には被服の貸与が必要かもしれないが、事務職には不要だろう。</p> <p>○ 「項番067：福祉事務現業手当」について、職員への手当は常に見直しを行ってほしい。</p> <p>○ 死亡人を取り扱った場合の手当などは納得しやすい。見直しが必要かどうかは、手当の内容次第だろう。</p> <p>○ 福祉事務現業手当や滞納整理手当については、その部署にいる職員の本業業務である。その観点から見直しが必要だろう。</p> <p>議題2 その他</p> <p>(1) 次回以降の審議の予定 次回以降の審議の予定について確認した。</p> <p>(2) その他 特になし。</p>
--	--

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■ 公 開 □ 一部公開 □ 非 公 開 ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>傍聴者： 0 人</p> <p>[ ]</p>
--------------------	--

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p>■ 開 示 □ 一部開示（根拠法令等： ) □ 非 開 示（根拠法令等： )</p>
---------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>企画財務部 企画政策課（内線：375）</p>
--------------	----------------------------